

H30年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート

1 評価対象施設の概要

Table with 6 main rows: 施設名称 (HOS生駒北スポーツセンター), 所在地 (生駒市高山町166-2), 指定管理者名 (HOSグループ), 利用料金制適用区分 (不適用), 選定方法 (公募), 設置目的 (市民の体育及びレクリエーション...), 主な実施事業等 (体育施設の使用許可...)

2 利用実績

Table with 6 columns: 利用区分等, 単位, 予定(計画・目標), 利用実績, 対前年度比, 増減の理由等. Rows include Ground, Baseball field, Gymnasium, Tennis court, and Running track.

3 事業収支

Table with 4 columns: 事業計画, 事業報告(実績), (参考)前年度実績. Rows include Income (収入計), Expenses (支出計), and Ratios (事業収支, 利用料金比率, etc.).

補足説明(必要に応じて記入)
自主事業については、ハルセロナのサッカー教室を誘致するなどの取組をはじめた初年度ということもあり、次年度以降赤字の解消に向けた取組を進めます。

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

Table with 2 main columns: 意見内容等, 対応実績等. Includes implementation status (有) and methods (利用者アンケート, etc.).

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	北部スポーツタウン構想の理念をコンセプト施設運営、事業展開を行い、いってよかった。やってみてよかった。みてみてよかった。を感じられる施設へと少しずつなってきた様に感じます。多くの方に当施設を知り、来館し、利用して頂くことができきています。利用者だけでなく近隣住民へもできる限りの配慮をおこなっています。
市の評価	周辺住民への配慮を考慮し、施設の管理運営をされていることについては高く評価しています。指定管理者応募時の事業計画に則り、北部スポーツタウン構想の拠点施設として、今後も適正な施設の管理運営を期待しています。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	生駒市の受付マニュアルに沿って業務確認、申請受付を行っています。公正に利用して頂けるようスタッフ間での共有事項を記録し徹底した受付対応を実施しています。利用当日も申請内容に相違が無い確認し、違う場合は再度ご説明をし適切な利用をご案内しています。
市の評価	市の受付事務の手引き等を遵守し、公平で適正な施設使用許可がなされています。また、申請時の申請者への聞き取りなどの利用者区分に関しても平等な利用を確保するための取組が日常的になされています。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	利用者が増える事により駐車場混雑に対する事や、入場時間に関する事、声の大きさなどに対するご不満頂くことがありました。ご理解を求めるほかありませんので丁寧に説明させていただきました。また、生駒市全体の施設管理に関する要望は生駒市に報告させていただいております。
市の評価	施設利用者数の増加に伴い、様々な調整が必要な案件も増えてきているように思われます。利用者に対しては、従前どおり丁寧な対応を心がけ、施設利用者が気持ちよく利用できるよう、引き続き努めてもらいたい。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	施設の部分的な修繕などはスタッフが対応し、部品も購入する前にあるもので対応出来ないか探す事からはじめています。水道光熱費も管理を行い、使用のない部分での無駄がないよう全スタッフで確認しています。事務所内でも再利用に意識を持ち無駄がないように努めています。
市の評価	エコに対する日々の取組や職員の意識啓発を行っています。また、広大な敷地面積のため、植栽等も多く、職員による剪定や清掃等により、極力経費の節減を図っておられます。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	自主事業の回数を増やしていることや、定期的なスクールを実施することで施設使用料や稼働率が増加しました。来館者も増え施設の認知度も上がっていると感じます。
市の評価	自主事業を活用しての施設の有効活用や周知啓発については、高く評価しています。引き続き発信力の高い事業の実施を期待しています。
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	受付時間帯は管理人も含め常時3名以上のスタッフが施設内にいるよう配置し広い敷地内で起きた事象には迅速に対応できるようにしています。朝礼、スタッフ研修、ミーティングを行い業務内容を確認し合っています。スタッフは入れ替わりでも休日後の出勤でも業務の伝達事項が伝わる様に業務日報や業務伝達記録書を使用しています。
市の評価	社内研修や日々の朝礼での申し送りの体制など、利用者対応は、優れていると感じています。今後は、自主事業が増えていくこともあり、さらなる利用者目線に立った管理運営を期待しています。
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	年間を通して多種目で多世代がご参加出来る自主事業が展開できました。多くの方に喜んでご参加いただきスポーツ活動の導入につながっていると感じます。また、生駒市総合型地域スポーツクラブにイベント協力していただき連携事業の実施ができました。さらに、利用者限定ではありませんが、マイクロバス運行や研修棟の利用を実施することができました。安全を第一に継続していきます。
市の評価	F Cバルセロナサッカースクール奈良校をはじめ、北部スポーツタウン構想を実現するための事業を実施されました。
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	日々の巡回で施設を点検し、不良箇所の対応は迅速に行えています。夏場の午前・午後枠は常時グラウンドにミスト扇風機を設置し熱中症対策を実施しています。また、熱中症や施設利用時における事故が出た場合は対応し市への報告も同時に行えています。
	緊急時における各種マニュアルを整備されており、不測の事態への対応準備はできている。なお、管理区域が広いことから、周辺住民への配慮も含め、引き続き、施設管理や運営面については、十分留意していただきたい。

サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
指定管理者による自己評価	自主事業の収支はイベント・スクールによってかなり差があります。また、FCバルセロナサッカースクール奈良校に関しては初期投資が大きい状況ですが、中長期でスクール生を増やし軌道にのる予定です。今後も安定した収入となるよう告知を実施し集客に努めます。
市の評価	FCバルセロナサッカースクール奈良校については、初期投資が大きく、大幅な赤字となっています。事業インパクトも大きく、市としても期待大でありますので、今後は赤字解消に向けた取組をお願いします。

6 指定管理者の財務の状況

【株式会社東大阪スタジアム】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
資産	1,625,380,264	1,681,099,626	
流動資産	287,796,993	342,379,320	
固定資産	1,330,862,970	1,338,720,306	
負債	396,009,365	421,357,891	
流動負債	277,736,072	298,400,283	
固定負債	118,273,293	122,957,608	
資本	1,229,370,899	1,259,741,735	
資本金	35,000,000	35,000,000	
売上高	2,465,315,513	2,571,217,179	
経常利益	12,300,418	31,609,612	

【天正株式会社】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
資産	11,982,822,526	12,074,839,640	12,681,007,547
流動資産	2,289,514,625	1,952,861,925	1,849,873,311
固定資産	9,693,307,901	10,121,977,715	10,831,134,236
負債	9,171,058,319	9,158,887,463	9,754,792,047
流動負債	2,185,094,766	1,648,775,410	1,953,431,544
固定負債	6,985,963,553	7,510,112,053	7,801,360,503
資本	2,811,764,207	2,915,952,177	2,926,215,500
資本金	10,000,000	10,000,000	10,000,000
売上高	1,256,142,033	1,376,537,124	1,604,974,711
経常利益	35,113,884	134,668,913	343,483,280

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

【株式会社東大阪スタジアム】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
自己資本比率 資本/資産×100	75.6%	74.9%	
負債比率 (流動負債+固定負債)/資本×100	32.2%	33.4%	
固定比率 固定資産/資本×100	108.3%	106.3%	
流動比率 流動資産/流動負債×100	103.6%	114.7%	
固定長期適合率 固定資産/(資本+固定負債)×100	98.8%	96.8%	
総資産回転率 売上高/資産×100	151.7%	152.9%	
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	0.8%	1.9%	

【天正株式会社】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
自己資本比率 資本/資産×100	23.5%	24.1%	23.1%
負債比率 (流動負債+固定負債)/資本×100	326.2%	314.1%	333.4%
固定比率 固定資産/資本×100	344.7%	347.1%	370.1%
流動比率 流動資産/流動負債×100	104.8%	118.4%	94.7%
固定長期適合率 固定資産/(資本+固定負債)×100	98.9%	97.1%	101.0%
総資産回転率 売上高/資産×100	10.5%	11.4%	12.7%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	0.3%	1.1%	2.7%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価
<p>施設のご利用者が増えてきました。利用にあたっての注意事項は予約時に申請者にお伝えし、当日参加者全員に伝わるようお願いしています。しかし、それでも伝わりきらない場合は1件ずつ利用者に声かけを行っています。ルールを守り近隣住民にも施設運営にご理解頂ける様にしていきます。</p> <p>30年度は雨が多く、避難所として開設されることが多かったと感じますが、管理人とスタッフで連携を取り対応できました。また、台風被害の際もスタッフの迅速な対応によりご利用のお客様に最小限のご迷惑でご利用して頂く段取りが出来ました。今後も同様に対応していきます。また、利用が増える事により浄化槽管理に多少変化がありました。数値変動に意識を持ち報告を小まめに市役所に行う事が出来ました。今後も専門家と連携を取り管理を進めます。30年度は消防本部立ち合いの元で研修棟の利用を始めることが出来ました。商工会への利用案内の配布や自主事業開催の場所として始動しました。次はクラブハウスの稼働が出来るよう準備を進めていきたいです。</p>
市の評価
<p>施設利用者への対応も良く、また多くの自主事業の開催など、利用者や事業参加者からは高く評価されていることが伺えます。また、当施設は「北部スポーツタウン構想」の拠点施設であるため、今後も構想の実現に向けた取組を期待しています。</p>